

鈴鹿山麓混成博物館発

風土を味わう

VOL.1

竜王町・愛荘町・多賀町



2019年9月

鈴鹿山麓混成博物館



双竜の里御膳

滋賀県蒲生郡竜王町

竜王町

北に聳える雪野山(別名竜王山)と、南に聳える鏡山(別名竜王山)。この二つの竜王山に見守られる里が竜王町です。町の北を国道8号(中山道)が、中央を名神高速道路が通る人・物が行き交う便利な田舎で、この事がこの町の文化を造る源となっています。

双竜の里御膳

二つの竜王山の間を日野川を始めとする中小の河川が流れ、田畑を涵養しています。町の南の丘陵には、近江牛の牧場、果樹園が広がります。とても豊かな農作物と、交流が生み出した食材が醸し出す、懐かしくおいしい料理、これが「双竜の里御膳」です。ミニバイキング形式で召し上がっていただきます。



鯖そうめん

日本海で獲れた鯖が串焼きにされ、近江の北を中心に流通します。この焼き鯖を買い求め、甘辛く煮、この汁で素麺を煮て盛り付ける料理。長浜の名物として有名ですが、竜王でも、行事の御馳走として食べられていました。丸ごとの鯖が豪勢。



あかねさす

「あかねさす 紫野行き しめの行き 野守は見ずや 君が袖振る」この万葉集の白眉、額田王の相問歌の舞台が雪野山の麓。彼女は、龍王に移り住んだ渡来人の鏡氏の出身。様々な縁を、竜王で獲れた芋茎ずいきからしみ出る薄紅色に託してみました。



料理に関する見所



苗村神社

竜王の総社的な神社で、琵琶湖の葎で葺かれた楼門が印象的です。神社は東西二つの本殿に分かれ、双竜の里の豊穰を司る神様が祀られています。西本殿は、近江独特の形をした建物で、国宝に指定されています。



鏡神社

源義経の元服伝説が伝わる中山道(古くは東山道)鏡宿に鎮座する神社で、日本に渡来した新羅の王子「天日槍あめのひばこ」を祭神としています。天日槍は大陸の優れた文化を日本にもたらし、古代日本の基礎を造りました。



龍王寺

雪野山の麓に鎮座する寺で、古くは野寺とも言われていました。本尊は薬師如来で、喘息封じの仏さまとして信仰を集めています。寺には、三和姫という美蛇神がもたらした、必ず雨を恵むという梵鐘が伝わっています。



野菜で味わう四季

地元の農家が手塩にかけて作った野菜を、少しずつ分けていただき、天麩羅や煮物にします。穫れる野菜は季節により違いますので、料理も季節、いや、毎日違うかもしれません。特にお勧めなのが山芋で、晩秋の限られた時期にだけ姿を見せる逸品。



湧水ゼリー

デザートゼリーの素材は鈴鹿の山が育てた「水」。何も加えない水を少量のゼラチンで時間をかけ、ゆっくり、ゆるく固めました。水の柔らかなおいしさを味わってください。原価は限りなく安いのですが、水に対する限りない愛着のこもった逸品。



料理に関する見所



金剛輪寺

行基が開基したと伝える古刹で、この地を開発した依知秦氏が、その氏寺として寺観を整えたとされています。国宝の本堂を始め、多くの文化財を伝え、秋には湖東三山の一ヶ寺として、多くの人々が来訪されます。



上蚊野古墳群

金剛輪寺の周辺に広がる、近江最大規模の古墳群で、その造営者達は、依知秦氏に代表される渡来人とされています。近江の開発に彼等が、いかに大きな役割を果たしたかを実感させる歴史の景観です。



とよみつ 豊満神社

境内の竹を旗竿いくさに使うと戦に勝つと、武家の信仰を集めた神社で、「旗神」とも呼ばれていましたが、おそらく渡来人に由来する「秦神」なのでしょう。最近では「ほうまん」から美人の神様としても信仰されています。



多賀の里御膳

滋賀県犬上郡多賀町

多賀町

犬上川と芹川に挟まれた土地が多賀の里です。多賀とは「たか」であり「高」即ち、神の宿る「気高き土地」といった意味が込められた地名とされています。多賀町には、多賀大社を始めとする多くの神社が鎮座し、この視線の元で豊かな暮らしが営まれています。

多賀の里御膳

鈴鹿の山のミネラル分を多く含む多賀の土は、牛蒡や人参のような根菜を美味しく育てます。また、多賀は有数の蕎麦の産地。そして、基本は、美味しい水が育てる美味しいお米。これらの食材を生かした料理のコンセプトは、多賀の神仏にちなみ「長命長寿」。



季節の田楽

多賀町敏満寺は、能楽の元となった「田楽」と呼ばれる芸能の発祥地です。この芸能に由来する料理が「田楽」・「おでん」。季節の食材を使った、田楽バリエーションを楽しんでいただきます。



多賀蕎麦

多賀産の蕎麦粉を使った茹でたての手打蕎麦。普通の醤油ベースの出汁の他、日によっては、味噌をベースとした煮拔出汁等の変化も楽しんでいただきます。また、蕎麦粉を使った蕎麦豆腐、蕎麦粉ガレットなども登場。



料理に関する見所



多賀大社

お多賀参りで知られる多賀大社。その起源は、鈴鹿の山を水源とする芹川の水に対する感謝から始まったともされています。神社の境内には、芹川から引き込んだ流れを使った、秀吉に縁の美しい庭園が残されています。



大蛇ヶ淵

大瀧神社の境内を犬上川が激流となって流れ落ちます。その境内には大蛇と戦った、忠犬小石丸を祀る犬上神社が鎮座。この神社、ペットの守り神として近年人気を集めています。また、ここは隠れた紅葉の名所。



胡宮神社

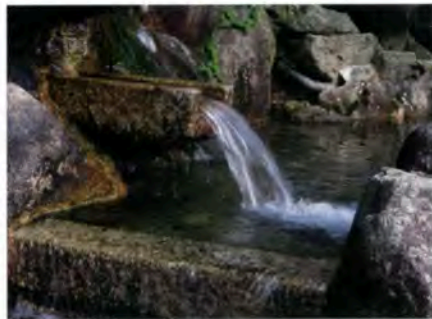
元々敏満寺という巨大な寺院があった所。平家の焼討ちに遭って壊滅した、奈良東大寺の復興に尽力した俊乗坊重源に縁の寺、そして能楽発祥の寺としても知られています。秋ともなると見事な紅葉のトンネル。

ご利用にあたって

- ここで紹介したメニューは一例で、季節により内容が異なります。
- 利用料金は、おおむね2500円～3500円程度で、ご利用の都度ご相談願います。
- 会場使用料が発生しますので、事前にご確認ください。
- 利用は1か月以上前に予約をお願いします。
- ご予約・お問い合わせは、下記インフォメーションをご参考願います。



水田に建つ島宝塔



山比古湧水



多賀のそば畑

双竜の里御膳

▶調理

竜王町あえんぼグループ

▶ご予約・お問い合わせ

竜王町観光協会

TEL 0748-58-3715

▶食事会場

竜王町山之上公民館

会場の都合により変更が生じる場合があります。

愛知秦の膳

▶調理

魚与(うをよ)

愛荘町蚊野1705 TEL 0749-37-2011

▶ご予約・お問い合わせ

一般社団法人愛荘町秦荘観光協会

TEL 0749-37-2333

▶食事会場

金剛輪寺華楽坊

会場の都合により変更が生じる場合があります。

多賀の里御膳

▶調理

魚保Keiji

多賀町多賀721 TEL 0749-48-1061

▶ご予約・お問い合わせ

一般社団法人多賀観光協会

TEL 0749-48-1553

▶食事会場

名勝胡宮神社庭園〔社務所〕

会場の都合により変更が生じる場合があります。

鈴鹿山麓混成博物館とは

鈴鹿山麓にある、東近江市博物館グループ(近江商人博物館、中路融人記念館、西堀榮三郎記念探検の殿堂、能登川博物館)・愛荘町立歴史文化博物館・多賀町立博物館が中心となり、関係する観光協会や民間企業とも連携し、鈴鹿山麓の文化を地域の資源として発信するため、2018年に結成された団体です。 **〈事務局〉多賀町立博物館 TEL 0749-48-2077**

鈴鹿山麓混成博物館発 風土を味わう VOL.1 竜王町・愛荘町・多賀町

発行…2019年9月 鈴鹿山麓混成博物館 事務局多賀町立博物館 TEL 0749-48-2077

編集・制作…NPO法人歴史資源開発機構